

三面地域 まちづくり通信

三面地域まちづくり協議会
発行日 平成25年1月15日
E-mail: as.shinko-chiiki@city.murakami.lg.jp
URL (ホームページ) http://www.city.murakami.lg.jp/

Vol.1

ハイライト

- ・ 鷲ヶ巣山登山道刈払い作業を行いました。
- ・ 三面地域大運動会 & 大交流会を行いました。
- ・ 集落活性化支援助成事業を紹介します。

三面地域まちづくり協議会役員のごあいさつ

◆会長 (布部 本間進二)

新年を迎え、今年が平穏な良い年でありませうご祈念申し上げます。昨年度は村上市が推進する市民協働のまちづくりのもと、三面地域の活性化をめざし、人的交流、環境整備といった情報の共有化を図り、地域集落と連携し合える場として「三面地域まちづくり協議会」が昨年3月に発足いたしました。皆さま方の地域に対する思いや考えなど意見交換しながら、各集落の活性化支援事業として助成金を交付し、また鷲ヶ巣山登山道の草刈り、三面地域大運動会、みおもて太鼓の支援といった活動を行ってまいりました。また本年度も地域に見合った、つながりのある活動を確実に実践してまいりたいと思っております。本年もなお一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。皆さまのご活躍とご健勝をお祈り申し上げます。



◆副会長 (新屋 菅井一志)

昨年、三面地域まちづくり協議会が発足して以来、各部会における行事にたくさんの皆さまに参加していただき、協議会役員共々感謝いたしております。これからも子どもからお年寄りまで、元気な笑顔あふれるまちづくりを実践していきたいと思っております。視察で訪れたまちづくりの先進地、長野市松代町の教訓“誰かがこの町を守り、育てて行かなければならない”との使命感に燃えて役員共々がんばる所存であります。どうか皆さま今後ともよろしく願いいたします。



◆事務局長 (上中島 板垣俊和)

この度、三面地域まちづくり協議会事務局長を務めさせていただく板垣です。少子高齢化が進むこの地域で、子どもからお年寄りまですべての住民が明るく楽しく過ごせるようなまちづくりを協議会並びに地域の皆さまと一緒に作っていきたく思っております。さて当地域は大自然に恵まれており、四季折々の景色を見ることができません。山あり川あり身近にある自然を大切に、まちづくりのヒントになれば日々模索中です。どうか地域の皆さまより様々なアイデアやご意見をお聞かせいただければ幸いです。最後に微力ではございますが、当三面地域がますます発展できますよう一生懸命がんばりたいと思います。ぜひ皆さまからのご支援とご協力をお願い申し上げます。



みおもて太鼓の演奏 [2012.11.15 長寿大学]

◆副会長 (岩崩 本間利廣)



三面地域まちづくり協議会の副会長を仰せつかりました本間です。各集落から選出された役員15名と各部会にご協力をいただいている15名の30人により、それぞれ三つの部会に分かれて活動しています。各部会の活動が活発になり、皆さまのご協力をいただき地域全体が活性化するようなまちづくりを目指していきたいと考えております。よろしく申し上げます。



第2回役員会の様子 [2012.5.22 総合文化会館会議室1]

専門部会の取り組み紹介

《環境部会》

環境部会では、地域の美化、自然環境の保全に努め、安心安全なまちをつくるために活動します。地域の環境美化や自然環境の保全活動として、クリーン作戦や花いっぱい運動の実施や地域住民が安心安全に暮らせるような防犯防災活動の取り組み、そして誰もが利用できる公園を整備したいと考えています。

□鷲ヶ巣登山道刈払い作業（岩崩 鷲尾光幸）

環境部会では、三面地域のまちづくりの基本方針の一つである「地域の美化、自然環境の保全に努め、安心安全なまちをつくる。」ことから、初めての事業として7月15日に鷲ヶ巣登山道の刈払い作業を行いました。早朝からの作業にも関わらず15名が参加し、草刈り機を使って2時間、登山道沿いの草刈り、倒木の処理を行いながら見晴らし台手前まで作業を行いました。作業中は山ヒルの歓迎を受け、雨具の上や中まで這い上がる始末でした。また当日は



あいにくの雨天となり、一時は作業の中止を考えたが、参加者皆さんの協力のおかげでケガや事故もなく無事に作業を終えることができ感謝申し上げます。来年度も草刈り作業を計画しておりますので皆さまのご参加、ご協力をお願いいたします。

《交流部会》

交流部会では、地域住民の交流と健康増進を図るイベントの開催や地域資源を活用して他地域との交流人口の拡大を図るための活動を行います。スポーツ大会、住民の誰もが楽しめて地域の行事につながるようなイベント、地域全体が参加する運動会や地域資源を活用した交流事業を考えています。

□三面地域大運動会&交流会（千縄 田村吉雄）

三面地域まちづくり交流会では、地域の皆さんの交流を深める目的で、三面地域大運動会を開催しました。当日は天候にも恵まれ、各集落から小さな子どもからご年配の方まで各世代の皆さん約120人も参加をいただきました。各集落ののぼり旗を作成し、全員整列して開会いたしました。競技メニューも趣向を凝らし、特に「雑学王決定クイズ」では全員が参加し、大変盛り上がりました。また運動会終了後にはバーベキューによる交流会を行い、集落を越え住民の皆さんが交流を深めることができました。



交流部会の最初の行事で参加者不足の不安もありましたが、各集落の区長さんやスタッフの皆さん、参加者の皆さんのご協力により大盛会で無事終了することができました。当日は不備な点もたくさんあったと思いますが、次回への課題としていきたいと思っています。今後も皆さんの様々

なご意見をいただきながら各行事に取り組んでいくことが大切だと思っています。三面地域がますます活性化し、つながりのある地域となりますように住民の皆さんこれからもより一層のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



□三面地域大運動会&交流会（荃太 佐藤正利）

三面地域まちづくり協議会交流部会事業の「三面地域大運動会&大交流会」が9月9日に三面小学校グラウンドにおいて、集落区長さんはじめ関係各位、地域の皆さんにご協力をいただきまして盛大に行うことができましたことに感謝申し上げます。さて、交流部会事業のはじめての大イベントということで、部会員は夜遅くまで市の担当者を交え真剣に意見を出し合い開催にこぎつけたときは、部会員の皆さんが地域の活性化のことを考えているんだと感じました。そして当日、地域の皆さんが笑顔で楽しく参加している様子を見て、どうすれば地域の活性化ができるのか考えさせられました。

最後になりますが区長さんはじめ地域の皆さんの意見を伺い、よく話し合い、少しずつでも地域の活性化に向かって努力していきたいと思っています。



□三面地域大運動会&交流会 (岩崩 大滝淳子)

三面地域大運動会が9月9日に行われました。初めての試みでしたので、準備の段階から運動会がうまくいくのか、参加してくれる人がいるのかなど不安がいっぱいでした。ところが運動会当日は天気も良く大勢の方が参加してくれました。チーム対抗の競技では他のチームに負けまいとすごい熱気で、綱引きのときには応援する方にも力が入り、地域の方が飛び入りで仮装して応援するというパフォーマンスまで飛び出し、その場は大いに盛り上がりとても楽しいひとときでした。その後の交流会も盛り上がったのは言うまでもなく、同じ地域に住んでいても普段顔を合わせることはない人とふれあうことができ、とても有意義な一日でした。



◇初代三面地域雑学クイズ優勝 (堀野 貝沼太陽くん・小5)

ぼくは、クイズで優勝してうれしかったことが二つあります。一つ目は、大勢の人の中で1位になれたことです。地いきの大人と子どもが混ざってのクイズでむずかしかつたけど、一生けん命がんばって優勝できたことです。二つ目は、村上牛をもらったことです。家族みんなに「ありがとう」と言われたので、がんばって良かったなとうれしくなりました。



～クイズは〇×クイズです～



◇ファインダー越しに (猿田 佐藤正勝)

9月9日、好天の空のもと三面地域まちづくり協議会交流部会の行事の一つとして、三面地域交流大運動会が開催されました。その時 photo を担当させてもらいまして、思ったことをレポートしたいと思います。一番印象に残っているのは、なんといっても子ども達です。色々な競技をおこないましたが、全ての競技において子ども達は真剣そのもの。走るのも、運ぶのも、引くのも、踊るのも真剣そのもの。大人達は楽しみながら参加していましたが、子ども達はとにかく一生懸命！ファインダー越しにも、その一生懸命さは確実に伝わりました。個人的に一番盛り上がったと思うのは、雑学王決定クイズかな。参加してくださった皆さま、大変ありがとうございました。運営にたずさわった皆さま、大変おつかれさまでした。今年も開催されると思いますが、もっともっとにぎやかに、盛大に開催されることと思います。



◆運動会の後はバーベキューによる交流会を行いました



＜＜地域振興部会＞＞

地域振興部会では、地域資源の調査や情報発信、地域の特色を生かした産業振興、集落の行事・文化への支援と地域で支える仕組みづくりを行います。観光施設の整備、地域情報紙の発行、地域特産物の発掘・販売、遊休地の有効利用、後継者育成、ボランティア組織づくり、集落活動支援など多岐にわたる活動を考えていきます。

集落活性化支援事業を活用した事業を紹介します

【敬老と収穫感謝祭】(中新保)

10月14日、中新保ふれあいセンターにおいて、敬老&収穫に感謝「第3回長寿の集い」が開催されました。午前中は村上郷土料理の達人本間さんと福島県相馬市の佐野さんを講師に招き、美人な若婦人部10人により調理実習を兼ねた鮭のフルコース「中新保鮭御膳」をつくり、午後の懇親会で提供されました。料理指導者の講話や創作昔話「カッパの恩がえし」を披露するなど訪れた皆さんから好評をいただき、世代間交流がはかられ盛会となりました。



□先進地研修視察(布部 小池博子)

去る11月11日「長野市松代町の取り組みを視察」との案内に、まちづくりの参考になればと参加しました。道中、まだ残る紅葉に目をうばわれつつ降り立った所は、城らしきものや六文銭のマーク



のある情緒ある場所でした。昼食までの待ち時間、隣の真田宝物館を見学しました。松代は真田幸村の兄が初代藩主として治めた所で、伝えられた品々が展示され見応えあるものでした。さて、旧武家屋敷でのNPO法人の方の話によると、町は昭和41年長野市に合併後、文化発信は埋没。平成5年に高速道のインターが通ったことによりまちづくりが活発化。13年に県の後押しもあり、地域全体をまるごと博物館ととらえて整備し発信してきたと



のここと。多くの有形文化財、町屋、古寺はもとより、古樹、焼物、民話、地下壕、泉水等多くの文化遺産を紹介。住んで暮らしやすい、訪れて憩える町づくりを目ざし、活性化への調査・提案、次世代育成、情報発信等々

事業を行っているという。説明後の散策では周辺の歩道道路は石畳風に、電柱は地下に埋設し、学校も周りの武家屋敷に溶け込むように工夫され、タイムスリップしたようでした。しかしいくら歩かないうちに雨が強くなり、残念でしたがここで車中へ。あまりにも素晴らしすぎて、私たちとは格が違いすぎましたが、取り組みの心意気は通じるものがあるのではないかと、探し出せるヒントになったのではないかと思います。



「三面地域まちづくり協議会」も1年間の準備期間を経て、24年4月から各専門部会が中心となり活動を実施してきました。地域振興部会の活動の一つ広報紙もようやく第1号を発行することができました。また、どんな活動が行われているのか地域全体には知られていない部分も多いようです。この広報紙を発信元とし地域の皆さまに知っていただき、参加していただきたいと思ひます。なお、地域(集落)でぜひ紹介したいことや取り上げてもらいたいこと等がありましたら、写真等を添えて各集落の役員まで情報を寄せいただければ幸いです。(堀野 貝沼一夫)